

最先端のICT技術をPR

～山梨テクノICTメッセ2024に出展～

県内最大の“ものづくり”と“情報通信”の展示会「山梨テクノICTメッセ2024」が9月13日(金)、14日(土)の2日間、アイメッセ山梨にて開催された。

本展示会は、(一社)山梨県機械電子工業会などの主催で毎年開催されており、本年はテーマを「やまなしの熟練技術とICTの最先端ここから世界へ!!」とし、県内の機械電子工業・情報通信に関する企業約70社が出展、各々のブースで自社の新技術・製品等のPRを行った。当日は、ライフイズテック株式会社の讃井康智氏による「生成AIの教育利用の最新状況と課題」をテーマとした記念講演や関東経済産業局・山梨県よろず支援拠点による価格転嫁対策セミナーも開催され、参加者は熱心に聞き入っていた。またイベントブースで



は親子ものづくり体験教室が開催されるなど、商談を目的とした企業だけでなく、最先端のIT技術に関心を寄せる学生なども

多く訪れ、2日間の来場者は4500人を超えた。

(一社)山梨県情報通信業協会(長坂正彦 会長/68会員)のブースでは、ICT相談コーナーが設け

られた。ICTとは、インターネットなどの情報通信機器を介して人同士のコミュニケーションを可能にするための技術であり、SNSやメールなど私たちの生活に欠かすことができない。テレワークなどが一般的になったことで、自社事業へのICT技術の活用・ツールの導入を検討する事業者が増えており、ブースには多くの相談者が訪れていた。また義務教育でもプログラミングが必修化される中、“小学生から楽しく・わかりやすくプログラミングを学ぶことができる”と注目を集めている学習ツール「Scratch」を活用したAI・IOTプログラミング体験コーナーも併設され、盛況のうちにイベントは終了した。



会場の様子



担当: 宮川